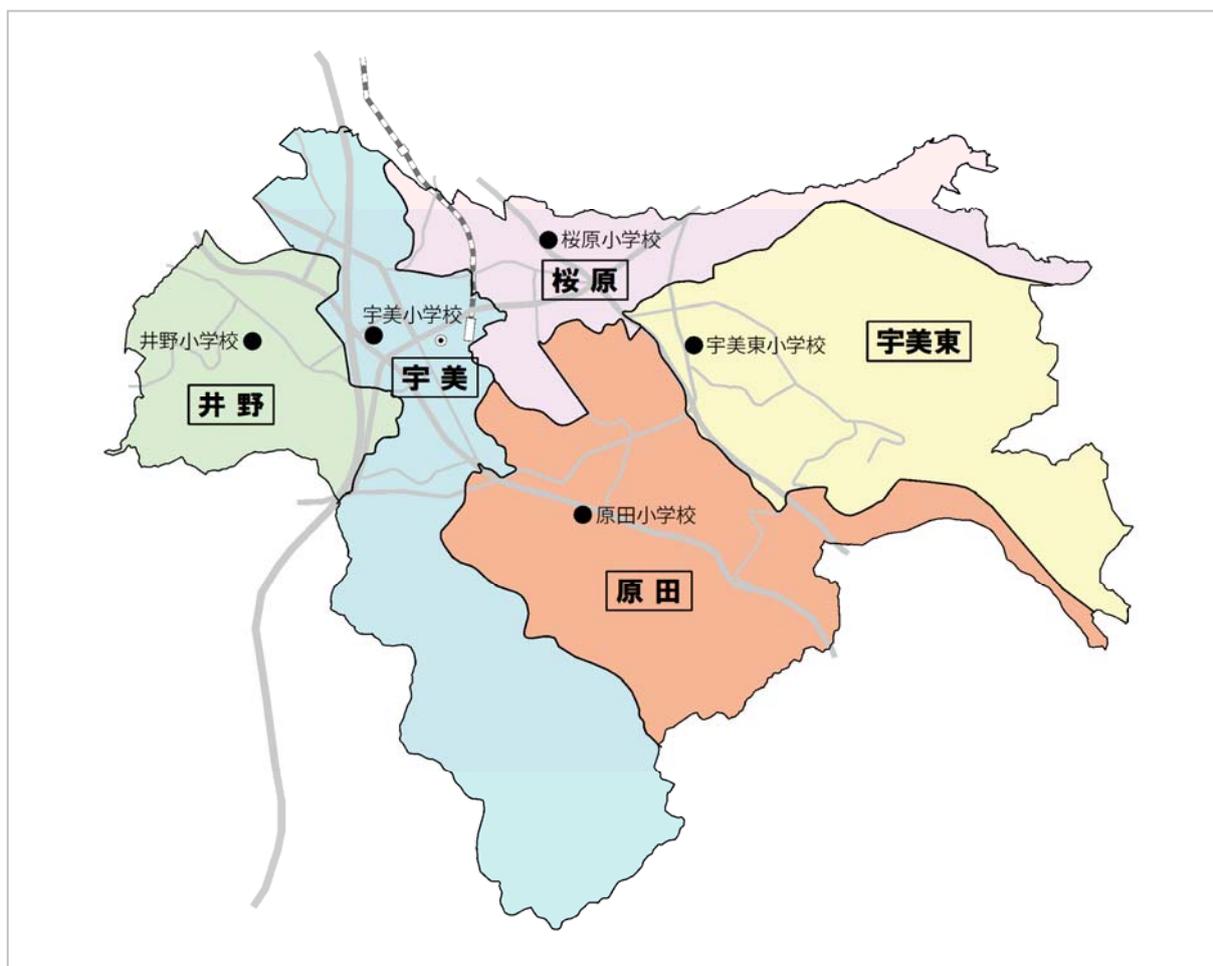


## 7 地域別構想

### 7.1 全体構想から地域別構想への展開

全体構想においては、本町の都市計画区域全体の都市づくりの構想を示しましたが、地域別構想においては、地域ごとにより具体的な内容を示します。

本町では小学校区を範囲とする地域コミュニティが推進されていることから、5つの小学校区ごとに地域別構想を示します。



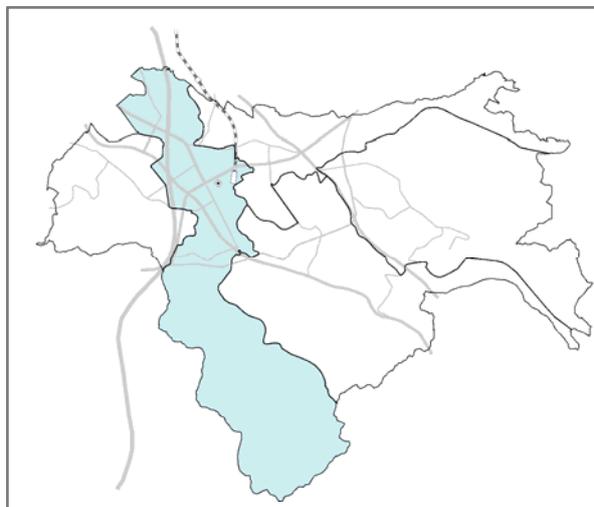
地域区分図

## 7.2 宇美地域

### 7.2.1 概況

- ・ 宇美地域は、都市計画区域の最北端から最南端まで縦に長い、人口約9千人の地域です。
- ・ 地域内には、町内唯一の鉄道駅の JR 宇美駅、主要地方道飯塚大野城線及び福岡太宰府線が通るほか、役場庁舎、大規模商業施設、宇美八幡宮をはじめ多様な施設が集積し、町の中心市街地としての機能を有しています。
- ・ また、南部には大野城跡を有する豊かな森林が広がっています。
- ・ 転出入者数や人口の増加が町内で最も多く、年少人口割合も高くなっています。

#### ■位置図



#### ■人口の動向

	宇美地域			町全体		
	H17	H22	増加率	H17	H22	増加率
人口	8,591人	9,034人	4.9%	37,846人	37,903人	0.2%
～14歳	16.9%	18.3%	1.4%	15.0%	15.1%	0.2%
15～64歳	65.1%	62.3%	-2.8%	69.2%	66.6%	-2.6%
65歳～	18.0%	19.4%	1.4%	15.9%	18.2%	2.4%
自然増減	-	-	2.4%	-	-	0.7%
社会増減	-	-	1.3%	-	-	-1.0%

#### ■主要な施設

名称
宇美町役場
宇美交番
健康福祉センター（うみハピネス）
こども療育センター（すくすく）
老人福祉センター（くすの杜）
歴史民俗資料館
光正寺古墳
宇美八幡宮
貴船保育園
宇美小学校
宇美中学校
弓道場
武道館
西鉄バス宇美営業所
JR宇美駅
宇美バス停（高速バス）
県立四王寺県民の森センター

#### ■土地利用面積割合

	区分	宇美地域	町全体
都市的 土地 利用	住宅用地	12.4%	14.5%
	商業用地	1.8%	1.3%
	工業用地	2.6%	6.9%
	公益施設用地	2.4%	3.1%
	公共空地	0.7%	1.1%
	道路・交通施設用地	7.6%	8.0%
	その他の空地等	1.7%	1.6%
	計	29.1%	36.5%
自然 的 土地 利用	田・畑	5.0%	6.1%
	山林	57.2%	47.0%
	水面	2.9%	2.2%
	その他の自然地	5.8%	8.2%
	計	70.9%	63.5%

※都市計画区域内のみ

## 7.2.2 都市づくりの主要課題

### (1) 土地利用に関する課題

#### ① 中心市街地の機能充実

JR 宇美駅周辺においては、交通利便性や各種施設の集積を活かし、各種施設のさらなる充実や移動しやすい道路網の構築など、**中心市街地としての機能充実**が必要です。

#### ② 土地利用の適正な誘導

快適に住み続けられる利便性の高い生活環境や産業振興の実現などにむけた適正な土地利用誘導が必要です。

### (2) 都市施設に関する課題

#### ① 道路網の構築と公共交通の利便性向上

日常のみならず災害時でも円滑に移動できる道路網や、地域の公共交通網の充実を図る必要があります。

#### ② 公園の適正配置と既存公園の活用

身近に利用できる公園の配置や既存公園のバリアフリー化などの機能充実が必要です。

#### ③ その他都市施設

宇美川や井野川などの保全や**上下水道の整備推進**、生活サービス施設の利便性向上に向けた取り組みが必要です。

### (3) 自然環境・景観形成に関する課題

県立四王寺県民の森を含む森林の保全・活用、景観面の規制と保全にむけた取り組みが必要です。また、来訪者の多い**宇美八幡宮周辺での歴史的景観に配慮した景観整備**が必要です。

### (4) 住環境に関する課題

増加する人口の受け皿ともなる身近な生活環境の維持・改善や、**旧炭鉱住宅などの居住環境の改善**、一般住宅の耐震化促進など快適に安心して暮らせる住環境の形成にむけた取り組みが必要です。

### (5) その他の課題

宇美八幡宮や大野城跡などの歴史的資源の保全やこれらを含む**地域資源の都市づくりへの活用**が必要です。

### 7.2.3 都市づくり構想

#### (1) 都市づくりの目標

#### 歴史・文化を感じる 住み良い 賑わいある 宇美地域

#### (2) 都市づくり構想

##### ① 宇美町の中心地にふさわしい魅力ある拠点づくり

JR 宇美駅周辺は、交通の利便性が高く、商業・業務施設、公共施設などが集積する本町の中心市街地としての機能を有しています。そのため、**今後も多様な施設の集約化を図るとともに、主要施設を結ぶ経路のバリアフリー化や景観づくり、目的に見合った使いやすい駐車場の確保を推進し、利便性が高く快適に利用できる活力ある環境を構築します。**また、JR 宇美駅の東側については、駅に近接する立地特性を活かし、**中心地としての市街地形成にむけて土地区画整理事業などの導入について検討します。**

##### ② 快適に暮らせる都市づくり

土地区画整理事業によって整備されたひまわり台地区(貴船三丁目の一部、五丁目)の良好な住環境の保全、主要地方道福岡太宰府線沿道への近隣住民の日常生活を支える生活利便施設の立地誘導、用途地域未指定箇所への指定などを推進しメリハリのある土地利用を実現します。また、生活道路の安全性向上、公園の適正配置、既存公園の機能充実、**上下水道の整備推進**など、**快適に暮らせる都市づくり**を推進します。

##### ③ 安全で安心して暮らせる都市づくり

地震発生時などにおける被害抑制や円滑な避難活動が行える環境を構築するため、老朽化の進む民間の特定建築物や住宅、通行を確保すべき道路\*沿道の建築物の耐震化を促進します。また、土砂災害などの対策や土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知、避難体制などの構築を推進します。

また、**旧炭鉱住宅は住宅が密集し災害発生時に被害が拡大する可能性があるため、市街地整備などによる環境改善**について検討します。

※主要地方道飯塚大野城線(旧道)、主要地方道福岡太宰府線、町道柳原～大名坂線、町道宇美～林崎線

##### ④ 移動しやすい都市づくり

道路や地域公共交通によってネットワークされた移動しやすい都市づくりを推進します。特に、**都市計画道路志免宇美線及び木河太宰府線の整備を推進**するとともに、JR 宇美駅周辺における**交通結節機能の向上**、旧国鉄勝田線跡地に整備された**緑道の利用環境の向上**に努めます。

また、**長期未着手となっている都市計画道路については整備の方向性について検討**します。

・本文中のゴシック体(太文字)は、地域で特記すべき内容の項目を示します。  
・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目(第4回まちづくり検討会より)を示します。

### ⑤ 活力のある都市づくり

事業中の都市計画道路志免宇美線沿道については、ポテンシャルを活かした適正な土地利用を誘導します。また、貴船の工場集積地では周辺と調和した操業環境を維持します。併せて、本町の産業振興に寄与する利用可能な土地の選定を検討します。

### ⑥ うるおいのある都市づくり

宇美八幡宮や大野城跡などの地域資源の都市づくりへの活用、豊かな森林や河川の保全、道路や河川空間での景観形成などにより、うるおいのある都市づくりを推進します。特に、宇美八幡宮周辺においては歴史的景観に配慮した環境整備や周遊ルートの整備を推進し、町民の誇りとなる空間を形成するとともに、来訪者が快適に過ごせる空間形成に努めます。また、宇美川や井野川などにおいては多様な生物が生息できる河川環境整備を促進します。

---

・本文中のゴシック体(太文字)は、地域で特記すべき内容の項目を示します。  
・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目(第4回まちづくり検討会より)を示します。



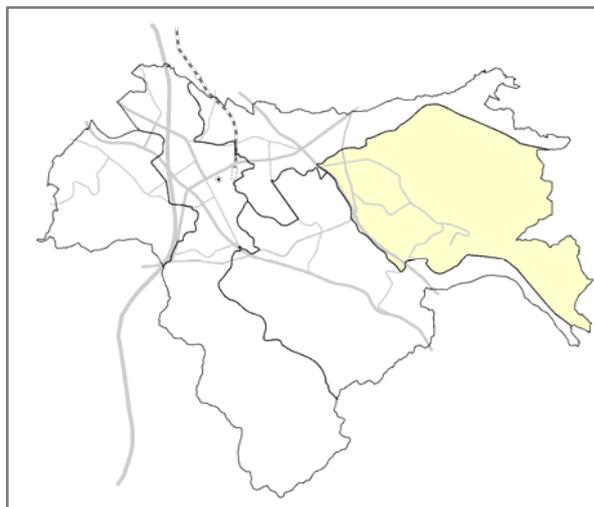
## 7.3 宇美東地域

### 7.3.1 概況

- ・ 宇美東地域は、町最東部に位置する人口約6千人の地域です。
- ・ 地域内には、主要地方道筑紫野古賀線及び飯塚大野城線が通り、これらに近接して一戸建てと集合住宅で構成される住宅地が形成され、その東側には地域の約6割を占める田園や森林で構成され、自然豊かな地域となっています。

- ・ 高齢者の割合は町の平均的な値ですが、平成17年からの5年間の増加率は町内で最も高くなっています。また、転出者数が転入者数を上回り、転出入により減少する人口の地域人口に占める割合は町内では2番目に高くなっています。

#### ■位置図



#### ■人口の動向

	宇美東地域			町全体		
	H17	H22	増加率	H17	H22	増加率
人口	6,324人	6,293人	-0.5%	37,846人	37,903人	0.2%
～14歳	13.4%	14.7%	1.2%	15.0%	15.1%	0.2%
15～64歳	72.5%	67.0%	-5.6%	69.2%	66.6%	-2.6%
65歳～	14.0%	18.4%	4.3%	15.9%	18.2%	2.4%
自然増減	-	-	1.1%	-	-	0.7%
社会増減	-	-	-2.7%	-	-	-1.0%

#### ■主要な施設

名称
研修所（まなびや・うみ）
柳原保育園
宇美東小学校
原の前スポーツ公園
一本松公園（昭和の森）

#### ■土地利用面積割合

	区分	宇美東地域		町全体	
		宇美東地域	町全体	宇美東地域	町全体
都市的 土地 利用	住宅用地	10.5%	14.5%		
	商業用地	0.3%	1.3%		
	工業用地	3.0%	6.9%		
	公益施設用地	4.5%	3.1%		
	公共空地	0.9%	1.1%		
	道路・交通施設用地	6.5%	8.0%		
	その他の空地等	1.4%	1.6%		
	計	27.0%	36.5%		
自然 的 土地 利用	田・畑	8.3%	6.1%		
	山林	55.7%	47.0%		
	水面	2.5%	2.2%		
	その他の自然地	6.3%	8.2%		
	計	73.0%	63.5%		

※都市計画区域内のみ

### 7.3.2 都市づくりの主要課題

#### (1) 土地利用に関する課題

##### ① 土地利用の適正な誘導

快適に住み続けられる利便性の高い生活環境や産業振興の実現などにむけた適正な土地利用誘導が必要です。

#### (2) 都市施設に関する課題

##### ① 道路網の構築と公共交通の利便性向上

日常のみならず災害時でも円滑に移動できる道路網や、地域の公共交通網の充実を図る必要があります。

##### ② 公園の適正配置と既存公園の活用

身近に利用できる公園の配置や既存公園のバリアフリー化などの機能充実が必要です。

##### ③ その他都市施設

宇美川や仲山川の保全や下水道の整備推進、生活サービス施設の利便性向上に向けた取り組みが必要です。

#### (3) 自然環境・景観形成に関する課題

一本松公園を含む森林や**農地の保全・活用**、景観面の規制と保全にむけた取り組みが必要です。

#### (4) 住環境に関する課題

進行する高齢化に対応した身近な生活環境の維持・改善、一般住宅の耐震化促進など快適に安心して暮らせる住環境の形成にむけた取り組みが必要です。

### 7.3.3 都市づくり構想

#### (1) 都市づくりの目標

**自然の保全と活用、防災力の向上により、若いも若きも住みやすい・住み続けたいなる里**

#### (2) 都市づくり構想

##### ① 快適に暮らせる都市づくり

住宅地開発によって整備された低層住宅地や中高層住宅地の良好な住環境の保全、主要地方道筑紫野古賀線沿道などの生活拠点への近隣住民の日常的な生活を支える生活利便施設の立地誘導、用途地域未指定箇所への指定などを推進しメリハリのある土地利用を実現します。また、生活道路の安全性向上、公園の適正配置、既存公園の機能充実、下水道の整備推進など、快適に暮らせる都市づくりを推進します。

##### ② 安全で安心して暮らせる都市づくり

地震発生時などにおける被害抑制や円滑な避難活動が行える環境を構築するため、老朽化の進む民間の特定建築物や住宅、通行を確保すべき主要地方道筑紫野古賀線沿道の建築物の耐震化を促進します。また、土砂災害などの対策や土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知、避難体制などの構築を推進します。

##### ③ 移動しやすい都市づくり

道路や地域公共交通によってネットワークされた移動しやすい都市づくりを推進します。特に、都市計画道路粕屋宇美線の整備を推進するとともに、生活の移動を支える地域公共交通の機能を維持します。

##### ④ 活力のある都市づくり

事業中の都市計画道路粕屋宇美線沿道については、ポテンシャルを活かした適正な土地利用を誘導します。また、障子岳南の工場集積地では周辺と調和した操業環境を維持します。併せて、本町の産業振興に寄与する利用可能な土地の選定を検討します。

##### ⑤ うるおいのある都市づくり

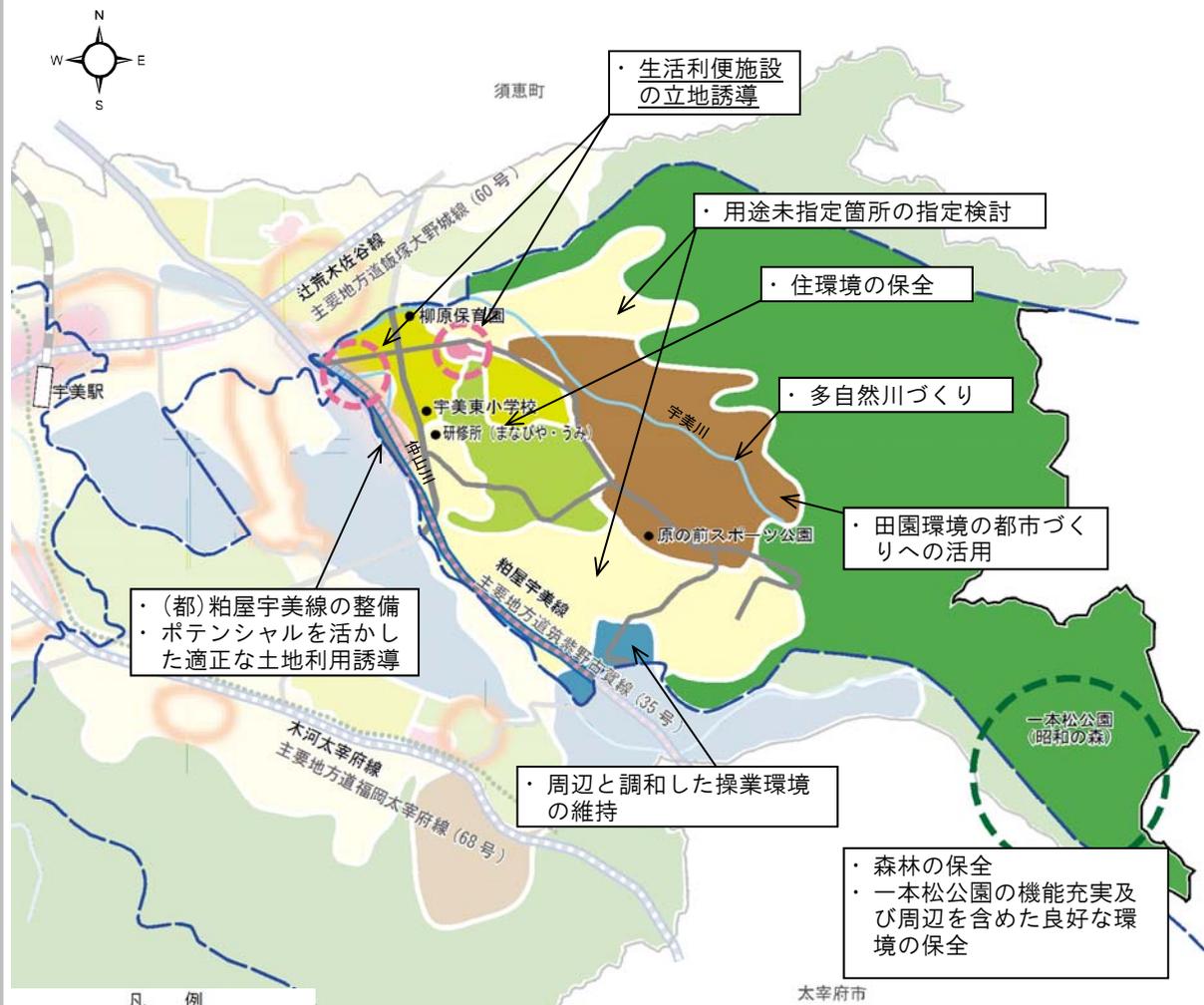
田園環境の都市づくりへの活用、豊かな森林や河川の保全、道路や河川空間での景観形成などによりうるおいのある都市づくりを推進します。特に、一本松公園の機能充実を推進するとともに周辺を含めた良好な環境を保全し、町民や来訪者の余暇の充実や交流の拡大に寄与する空間形成に努めます。また、宇美川や仲山川における多様な生物が生息できる河川環境整備を促進します。

---

・本文中のゴシック体(太文字)は、地域で特記すべき内容の項目を示します。  
・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目(第4回まちづくり検討会より)を示します。

都市づくりの目標

自然の保全と活用、防災力の向上により、老いも若きも住みやすい・住み続けたいなる里



凡 例

拠点	中心拠点		広域交通軸	高速道路	
	生活拠点			広域幹線道路	
	産業拠点			都市計画道路	
	歴史・文化拠点			事業着手区間	
	レクリエーション拠点			計画区間	
	交通拠点			鉄道	
ゾーン	中心商業地		都市内幹線道路		
	近隣商業・沿道サービス地		都市計画道路		
	工業・流通業務地		緑道		
	低層住宅地		河川		
	中高層住宅地		土地区画整理事業等検討区域		
	一般住宅地		用途地域見直し検討区域(用途地域内)		
田園居住ゾーン		都市計画区域界			
森林ゾーン					

・図は概ねの位置を示します。  
 ・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目（第4回まちづくり検討会より）を示します。

〈地域全体を対象〉

- 生活道路の安全性向上
- 公園の適正配置
- 既存公園の機能充実
- 下水道の整備推進
- 道路や河川などの景観形成
- 建築物の耐震化促進
- 土砂災害などの対策
- 土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知
- 避難体制の構築
- 防災施設の適切な管理
- 地域公共交通の機能維持
- 産業振興に寄与する利用可能な土地の選定

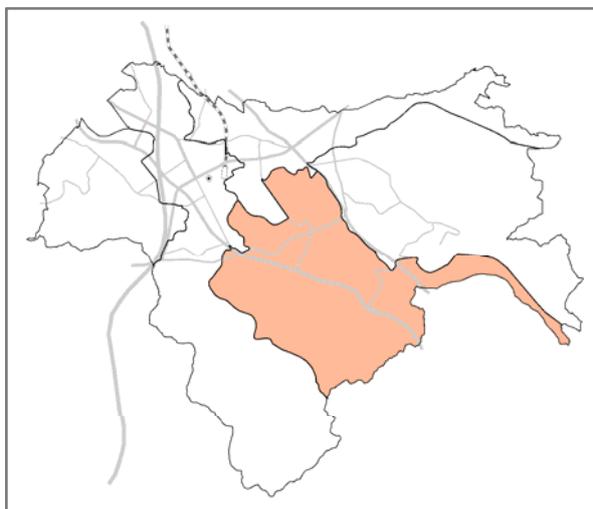
構想図(宇美東地域)

## 7.4 原田地域

### 7.4.1 概況

- ・ 原田地域は、町のほぼ中央南部に位置する人口約1万人の地域です。
- ・ 地域内には、主要地方道飯塚大野城線、筑紫野古賀線及び福岡太宰府線が通り、これらに近接して、新興住宅地や工業団地などで構成される市街地が形成しており、その南部に田園や森林が広がっています。
- ・ 高齢化の進行は町内では遅い方ですが、平成17年からの5年間の人口減少率は町内で最も高くなっています。これは転出が転入を大きく上回っていることが要因となっています。

#### ■位置図



#### ■人口の動向

	原田地域			町全体		
	H17	H22	増加率	H17	H22	増加率
人口	10,126人	9,837人	-2.9%	37,846人	37,903人	0.2%
～14歳	15.6%	14.0%	-1.6%	15.0%	15.1%	0.2%
15～64歳	71.4%	70.6%	-0.8%	69.2%	66.6%	-2.6%
65歳～	13.0%	15.4%	2.4%	15.9%	18.2%	2.4%
自然増減	-	-	-0.2%	-	-	0.7%
社会増減	-	-	-2.8%	-	-	-1.0%

#### ■主要な施設

名称
宇美南町民センター
早見保育園
原田保育園
原田小学校
宇美東中学校
宇美南中学校
勤労者体育センター
衛生センター
総合スポーツ公園

#### ■土地利用面積割合

	区分	原田地域	町全体
都市的 土地 利用	住宅用地	14.0%	14.5%
	商業用地	1.3%	1.3%
	工業用地	12.4%	6.9%
	公益施設用地	3.3%	3.1%
	公共空地	1.9%	1.1%
	道路・交通施設用地	8.7%	8.0%
	その他の空地等	1.1%	1.6%
	計	42.7%	36.5%
自然 的 土 地 利 用	田・畑	2.9%	6.1%
	山林	44.0%	47.0%
	水面	1.0%	2.2%
	その他の自然地	9.4%	8.2%
計	57.3%	63.5%	

※都市計画区域内のみ

## 7.4.2 都市づくりの主要課題

### (1) 土地利用に関する課題

#### ① 土地利用の適正な誘導

快適に住み続けられる利便性の高い生活環境や産業振興の実現などにむけた適正な土地利用誘導が必要です。

### (2) 都市施設に関する課題

#### ① 道路網の構築と公共交通の利便性向上

日常のみならず災害時でも円滑に移動できる道路網や、地域の公共交通網の充実を図る必要があります。

#### ② 公園の適正配置と既存公園の活用

身近に利用できる公園の配置や既存公園のバリアフリー化などの機能充実が必要です。

#### ③ その他都市施設

井野川や仲山川の保全や下水道の整備推進、生活サービス施設の利便性向上に向けた取り組みが必要です。

### (3) 自然環境・景観形成に関する課題

県立自然の森を含む森林や農地の保全・活用、景観面の規制と保全にむけた取り組みが必要です。

### (4) 住環境に関する課題

進行する高齢化に対応した身近な生活環境の維持・改善や、旧炭鉱住宅などの居住環境の改善、一般住宅の耐震化促進など快適に安心して暮らせる住環境の形成にむけた取り組みが必要です。

### (5) その他の課題

大野城跡といった歴史的資源の保全やこれらを含む地域資源の都市づくりへの活用が必要です。

### 7.4.3 都市づくり構想

#### (1) 都市づくりの目標

#### **原田っ子が「誇り」と「愛着」を持てる安全・安心で快適な地区づくり**

～豊かな人づくりお隣さんづくり 顔と声を広げる運動の推進～

#### (2) 都市づくり構想

##### ① 快適に暮らせる都市づくり

土地区画整理事業によって整備された低層住宅地の良好な住環境の保全、生活拠点への近隣住民の日常的な生活を支える生活利便施設の立地誘導、用途地域未指定箇所への指定などを推進しメリハリのある土地利用を実現します。また、生活道路の安全性向上、公園の適正配置、既存公園の機能充実、下水道の整備推進など、快適に暮らせる都市づくりを推進します。

##### ② 安全で安心して暮らせる都市づくり

地震発生時などにおける被害抑制や円滑な避難活動が行える環境を構築するため、老朽化の進む民間の特定建築物や住宅、通行を確保すべき主要地方道福岡太宰府線沿道の建築物の耐震化を促進します。また、土砂災害などの対策や土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知、避難体制の構築、避難場所や防火水槽などの防災施設の適切な管理などを推進します。

また、旧炭鉱住宅は住宅が密集し災害発生時に被害が拡大する可能性があるため、市街地整備などによる環境改善について検討します。

##### ③ 移動しやすい都市づくり

道路や地域公共交通によってネットワークされた移動しやすい都市づくりを推進します。特に、都市計画道路木河太宰府線の整備を推進するとともに、生活の移動を支える地域公共交通の利便性向上、旧国鉄勝田線跡地に整備された緑道の利用環境の維持に努めます。また、都市計画道路木河太宰府線と都市計画道路粕屋宇美線を繋ぐ安全に通行できる道路の整備について検討します。

##### ④ 活力のある都市づくり

障子岳南や若草の工場集積地では周辺と調和した操業環境を維持します。併せて、本町の産業振興に寄与する利用可能な土地の選定を検討します。

##### ⑤ うるおいのある都市づくり

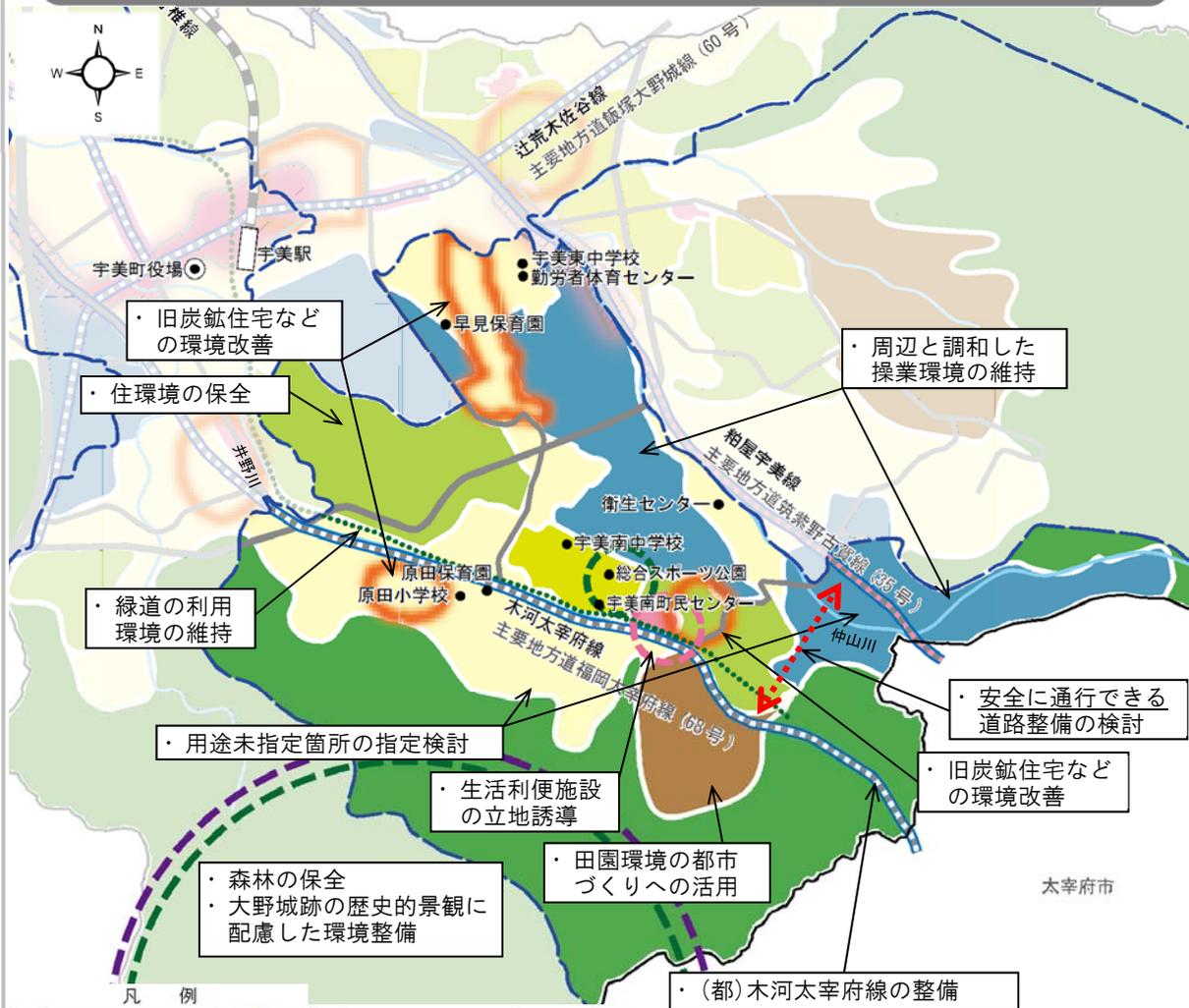
大野城跡といった歴史的資源、田園環境の都市づくりへの活用、豊かな森林やホタルが生息する河川の保全、道路や河川空間での景観形成などによりうるおいのある都市づくりを推進します。

・本文中のゴシック体(太文字)は、地域で特記すべき内容の項目を示します。  
・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目(第4回まちづくり検討会より)を示します。

都市づくりの目標

**原田っ子が「誇り」と「愛着」を持てる安全・安心で快適な地区づくり**

～豊かな人づくりお隣さんづくり 顔と声を広げる運動の推進～



凡 例

拠点	中心拠点		広域交通軸	高速道路	
	生活拠点			広域幹線道路	
	産業拠点			都市計画道路	
	歴史・文化拠点			事業着手区間	
	レクリエーション拠点			計画区間	
	交通拠点			鉄道	
ゾーン	中心商業地			都市内幹線道路	
	近隣商業・沿道サービス地			都市計画道路	
	工業・流通業務地			緑道	
	低層住宅地			河川	
	中高層住宅地		土地区画整理事業等検討区域		
	一般住宅地		用途地域見直し検討区域(用途地域内)		
	田園居住ゾーン		都市計画区域界		
森林ゾーン					

・ 図は概ねの位置を示します。  
 ・ アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目（第4回まちづくり検討会より）を示します。

- 〈地域全体を対象〉
- ・ 生活道路の安全性向上
  - ・ 公園の適正配置
  - ・ 既存公園の機能充実
  - ・ 下水道の整備推進
  - ・ 道路や河川などの景観形成
  - ・ 建築物の耐震化促進
  - ・ 土砂災害などの対策
  - ・ 土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知
  - ・ 避難体制の構築
  - ・ 防災施設の適切な管理
  - ・ 地域公共交通の利便性向上
  - ・ 産業振興に寄与する利用可能な土地の選定
  - ・ 多自然川づくり

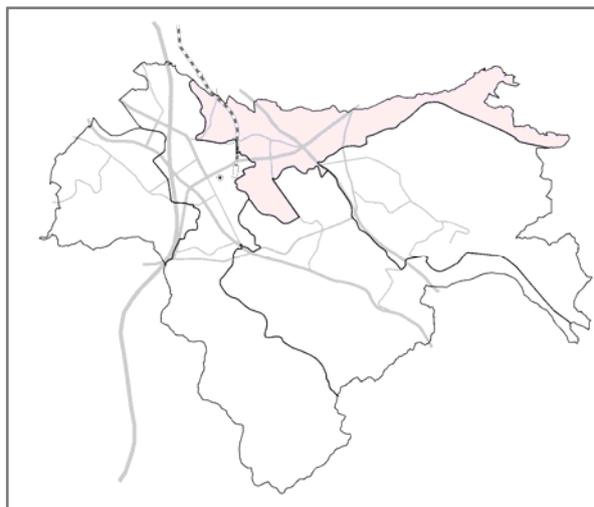
構想図(原田地域)

## 7.5 桜原地域

### 7.5.1 概況

- ・ 桜原地域は、町の北部に位置する東西に長い人口約8千人の地域です。
- ・ 地域内には、主要地方道飯塚大野城線及び筑紫野古賀線が通り、これらに近接して新興住宅地や工業団地で構成される市街地や農地などで構成されています。
- ・ 人口の減少は大きくないものの、少子高齢化の進行は町内で最も進んでいます。

#### ■位置図



#### ■人口の動向

	桜原地域			町全体		
	H17	H22	増加率	H17	H22	増加率
人口	7,998人	7,941人	-0.7%	37,846人	37,903人	0.2%
～14歳	13.8%	13.8%	0.0%	15.0%	15.1%	0.2%
15～64歳	65.2%	63.6%	-1.7%	69.2%	66.6%	-2.6%
65歳～	21.0%	22.6%	1.7%	15.9%	18.2%	2.4%
自然増減	-	-	-1.7%	-	-	0.7%
社会増減	-	-	0.8%	-	-	-1.0%

#### ■主要な施設

名称
子育て支援センター（ゆうゆう）
働く婦人の家（し～ず・うみ）
住民福祉センター
地域交流センター（うみ・みらい館）
中央公民館
桜原小学校
宇美公園
林崎公園

#### ■土地利用面積割合

区分		桜原地域	町全体
都市的 土地 利用	住宅用地	25.8%	14.5%
	商業用地	1.6%	1.3%
	工業用地	9.3%	6.9%
	公益施設用地	3.4%	3.1%
	公共空地	1.6%	1.1%
	道路・交通施設用地	12.2%	8.0%
	その他の空地等	2.4%	1.6%
計		56.3%	36.5%
自然 的 土 地 利 用	田・畑	5.9%	6.1%
	山林	24.9%	47.0%
	水面	3.2%	2.2%
	その他の自然地	9.6%	8.2%
計		43.7%	63.5%

※都市計画区域内のみ

## 7.5.2 都市づくりの主要課題

### (1) 土地利用に関する課題

#### ① 中心市街地の機能充実

JR 宇美駅周辺においては、交通利便性や各種施設の集積を活かし、各種施設のさらなる充実や移動しやすい道路網の構築など、**中心市街地としての機能充実**が必要です。

#### ② 土地利用の適正な誘導

快適に住み続けられる利便性の高い生活環境や産業振興の実現などにむけた適正な土地利用誘導が必要です。

### (2) 都市施設に関する課題

#### ① 道路網の構築と公共交通の利便性向上

日常のみならず災害時でも円滑に移動できる道路網や、地域の公共交通網の充実を図る必要があります。

#### ② 公園の適正配置と既存公園の活用

身近に利用できる公園の配置や既存公園のバリアフリー化などの機能充実が必要です。

#### ③ その他都市施設

宇美川の保全や下水道の整備推進、生活サービス施設の利便性向上に向けた取り組みが必要です。

### (3) 自然環境・景観形成に関する課題

森林の保全・活用、景観面の規制と保全にむけた取り組みが必要です。

### (4) 住環境に関する課題

進行する高齢化に対応した身近な生活環境の維持・改善や、**旧炭鉱住宅などの居住環境の改善**、一般住宅の耐震化促進など快適に安心して暮らせる住環境の形成にむけた取り組みが必要です。

## 7.5.3 都市づくり構想

### (1) 都市づくりの目標

**自然と笑顔がいっぱい 安心安全で元気なまち桜原**

### (2) 都市づくり構想

#### ① 宇美町の中心地にふさわしい魅力ある拠点づくり

JR 宇美駅周辺は、交通の利便性が高く、商業・業務施設、公共施設などが集積する本町の中心市街地としての機能を有しています。そのため、**今後も多様な施設の集約化を図るとともに、主要施設を結ぶ経路のバリアフリー化や景観づくりを推進し、利便性が高く快適に利用できる環境を構築します。**また、JR 宇美駅の東側については、駅に近接する立地特性を活かし、**中心地としての市街地形成にむけて土地区画整理事業などの導入について検討します。**

・本文中のゴシック体(太文字)は、地域で特記すべき内容の項目を示します。

## ② 快適に暮らせる都市づくり

住宅地開発によって整備された低層住宅地や中高層住宅地の良好な住環境の保全、都市計画道路粕屋宇美線沿道などの生活拠点への近隣住民の日常的な生活を支える生活利便施設の立地誘導、用途地域未指定箇所への指定などを推進しメリハリのある土地利用を実現します。また、生活道路の安全性向上、公園の適正配置、既存公園の機能充実、下水道の整備推進、**住民による道路空間における植栽の実施や散歩道のルート設定**など、快適に暮らせる都市づくりを推進します。

## ③ 安全で安心して暮らせる都市づくり

地震発生時などにおける被害抑制や円滑な避難活動が行える環境を構築するため、老朽化の進む民間の特定建築物や住宅、通行を確保すべき道路※沿道の建築物の耐震化を促進します。また、土砂災害などの対策や土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知、避難体制などの構築を推進します。

また、**旧炭鉱住宅は住宅が密集し災害発生時に被害が拡大する可能性があるため、市街地整備などによる環境改善**について検討します。

※主要地方道飯塚大野城線(旧道)、主要地方道筑紫野古賀線、町道柳原～大名坂線

## ④ 移動しやすい都市づくり

道路や地域公共交通によってネットワークされた移動しやすい都市づくりを推進します。特に、**都市計画道路辻荒木佐谷線の整備や地域内道路の交差点改良**を推進します。また、生活の移動を支える地域公共交通の機能を維持するとともに、**快適なバスの乗り換え空間の整備**について検討します。

## ⑤ 活力のある都市づくり

**事業中の都市計画道路粕屋宇美線沿道**については、**ポテンシャルを活かした適正な土地利用を誘導**します。また、若草などの工場集積地では周辺と調和した操業環境を維持します。併せて、本町の産業振興に寄与する利用可能な土地の選定を検討します。

## ⑥ うるおいのある都市づくり

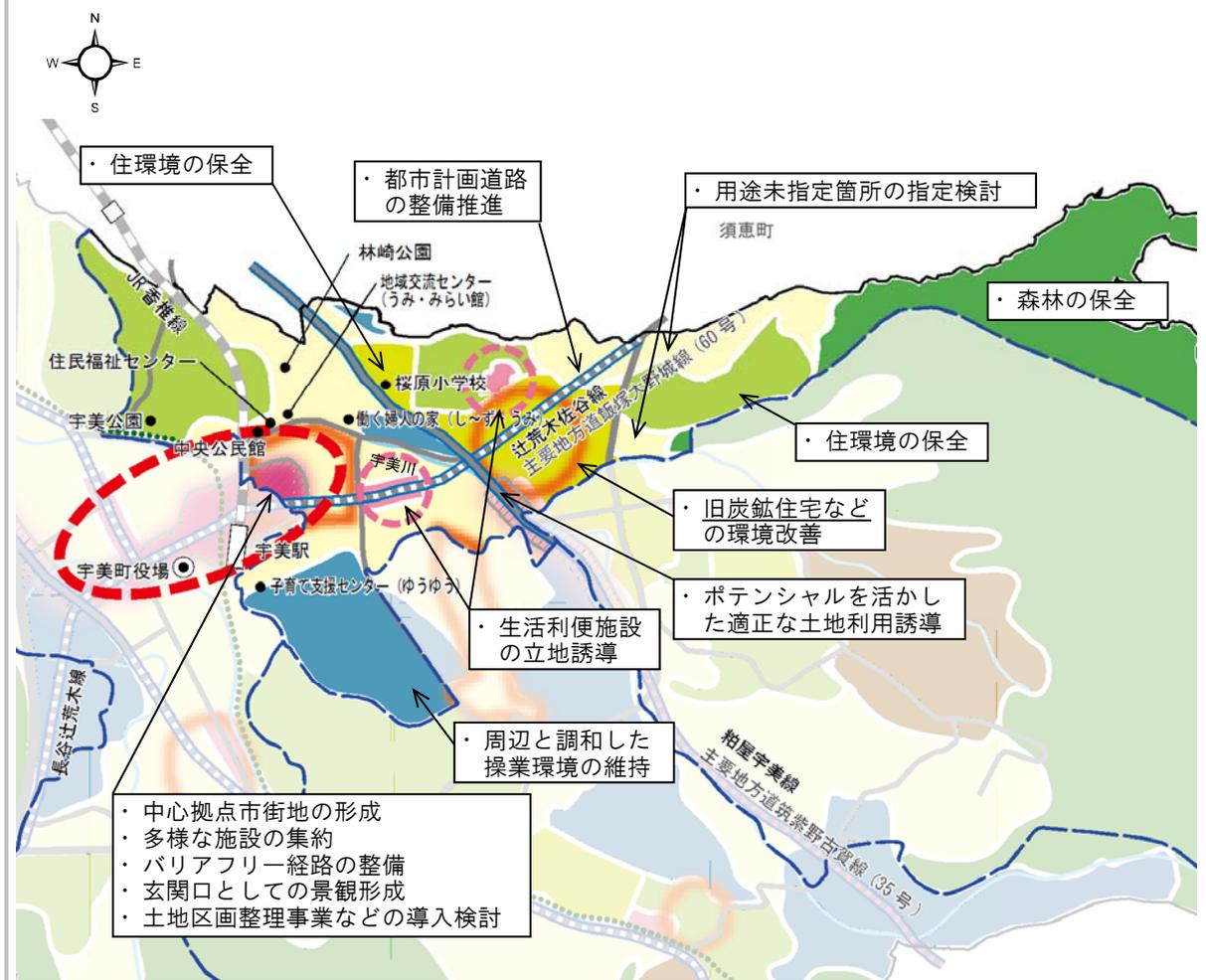
既存公園の機能充実、豊かな森林や河川の保全、道路や河川空間での景観形成などによりうるおいのある都市づくりを推進します。特に、宇美公園の機能充実を推進し、町民や来訪者の余暇の充実や交流の拡大に寄与する空間形成に努めます。また、宇美川における多様な生物が生息できる河川環境整備を促進するとともに河川沿いの遊歩道整備についても検討します。さらに、**炭鉱関連の産業遺産の掘り起しを行い、保全・活用にむけた検討**を行います。

---

・本文中のゴシック体(太文字)は、地域で特記すべき内容の項目を示します。  
・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目(第4回まちづくり検討会より)を示します。

都市づくりの目標

自然と笑顔がいっぱい 安心安全で元気なまち桜原



- ・中心拠点市街地の形成
- ・多様な施設の集約
- ・バリアフリー経路の整備
- ・玄関口としての景観形成
- ・土地区画整理事業などの導入検討

凡例

拠点	中心拠点		広域交通軸	高速道路	
	生活拠点			広域幹線道路	
	産業拠点			都市計画道路	
	歴史・文化拠点			事業着手区間	
	レジャー・ジョブ拠点			計画区間	
交通拠点		鉄道			
ゾーン	中心商業地		都市内幹線道路		
	近隣商業・沿道サービス地		都市計画道路		
	工業・流通業務地		緑道		
	低層住宅地		河川		
	中高層住宅地		土地区画整理事業等検討区域		
	一般住宅地		用途地域見直し検討区域(用途地域内)		
	田園居住ゾーン		都市計画区域界		
森林ゾーン					

・図は概ねの位置を示します。  
 ・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目(第4回まちづくり検討会より)を示します。

- 〈地域全体を対象〉
- ・交差点改良
  - ・生活道路の安全性向上
  - ・公園の適正配置
  - ・既存公園の機能充実
  - ・下水道の整備推進
  - ・道路や河川などの景観形成
  - ・建築物の耐震化促進
  - ・土砂災害などの対策
  - ・土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知
  - ・避難体制の構築
  - ・防災施設の適切な管理
  - ・地域公共交通の機能維持
  - ・快適なバス乗り換え空間の整備検討
  - ・産業振興に寄与する利用可能な土地の選定
  - ・炭鉱関連の産業遺産の掘り起し
  - ・多自然川づくり・河川沿いの遊歩道整備の検討

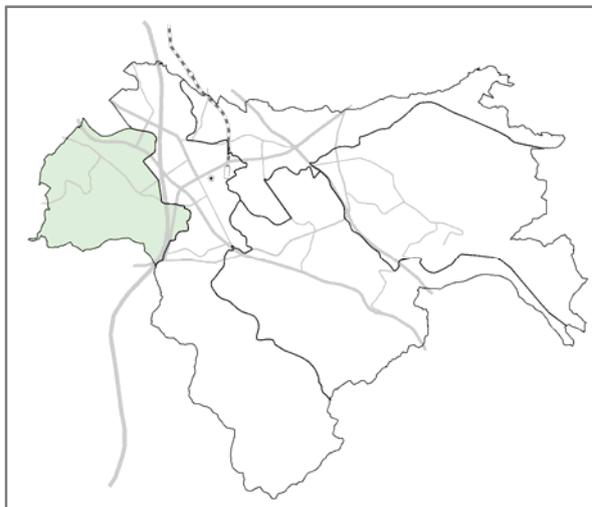
構想図(桜原地域)

## 7.6 井野地域

### 7.6.1 概況

- ・ 井野地域は、町の最西部に位置する人口約5千人の地域です。
- ・ 地域内では、都市計画道路志免宇美線の整備が進められており、平地部の田園が混在する市街地と、丘陵部にかけて工業団地とひばりが丘の住宅団地が形成され、これらの南側には森林が広がっています。
- ・ 高齢者の割合は町内で最も低く、生産年齢人口の割合が最も高くなっています。また、出生数が死亡数を上回ることでの人口の増加割合が町内で最も高いものの、転出による人口減少が多く人口の増加には至っていません。

#### ■位置図



#### ■人口の動向

	井野地域			町全体		
	H17	H22	増加率	H17	H22	増加率
人口	4,807人	4,798人	-0.2%	37,846人	37,903人	0.2%
～14歳	14.1%	14.3%	0.2%	15.0%	15.1%	0.2%
15～64歳	73.8%	71.1%	-2.7%	69.2%	66.6%	-2.6%
65歳～	12.0%	14.6%	2.5%	15.9%	18.2%	2.4%
自然増減	-	-	2.9%	-	-	0.7%
社会増減	-	-	-2.4%	-	-	-1.0%

#### ■主要な施設

名称
井野小学校
県立宇美商業高校

#### ■土地利用面積割合

	区分	土地利用面積割合	
		井野地域	町全体
都市的 土地 利用	住宅用地	15.9%	14.5%
	商業用地	0.7%	1.3%
	工業用地	11.0%	6.9%
	公益施設用地	3.8%	3.1%
	公共空地	0.9%	1.1%
	道路・交通施設用地	10.7%	8.0%
	その他の空地等	1.7%	1.6%
	計	44.8%	36.5%
自然 的 土地 利用	田・畑	10.9%	6.1%
	山林	28.1%	47.0%
	水面	2.2%	2.2%
	その他の自然地	14.0%	8.2%
	計	55.2%	63.5%

※都市計画区域内のみ

## 7.6.2 都市づくりの主要課題

### (1) 土地利用に関する課題

#### ① 土地利用の適正な誘導

快適に住み続けられる利便性の高い生活環境や産業振興の実現などにむけた適正な土地利用誘導が必要です。特に、平成地区においては、**都市計画道路志免宇美線の整備に併せたポテンシャルを活かした適正な土地利用誘導と周辺の良い市街地環境の構築**が必要です。

### (2) 都市施設に関する課題

#### ① 道路網の構築と公共交通の利便性向上

日常のみならず災害時でも円滑に移動できる道路網や、地域の公共交通網の充実を図る必要があります。

#### ② 公園の適正配置と既存公園の活用

身近に利用できる公園の配置や既存公園のバリアフリー化などの機能充実が必要です。

#### ③ その他都市施設

宇美川や井野川などの保全や**上下水道の整備推進**、生活サービス施設の利便性向上に向けた取り組みが必要です。

### (3) 自然環境に関する課題

森林の保全・活用にむけた取り組みが必要です。

### (4) 市街地環境に関する課題

身近な生活環境の維持・改善、**市街地の浸水対策の推進**、一般住宅の耐震化促進など快適に安心して暮らせる住環境の形成にむけた取り組みが必要です。

## 7.6.3 都市づくり構想

### (1) 都市づくりの目標

**井野山・井野川の自然と共生し、安全・安心に生活できる 街づくり！！**  
「スローライフ INO」

### (2) 都市づくり構想

#### ① 快適に暮らせる都市づくり

住宅地開発によって整備された低層住宅地の良好な住環境の保全、都市計画道路志免宇美線沿道への近隣住民の日常的な生活を支える生活利便施設の立地誘導、用途地域未指定箇所への指定などを推進しメリハリのある土地利用を実現します。また、生活道路の安全性向上、公園の適正配置、既存公園の機能充実、**上下水道の整備推進**など、快適に暮らせる都市づくりを推進します。

## ② 安全で安心して暮らせる都市づくり

地震発生時などにおける被害抑制や円滑な避難活動が行える環境を構築するため、老朽化の進む民間の特定建築物や住宅、通行を確保すべき主要地方道飯塚大野城線(旧道)沿道の建築物の耐震化を促進します。また、土砂災害などの対策や土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知、避難体制などの構築を推進します。平成地区の一部の区域は浸水想定区域となっているため、河川改修や調整池整備などの総合的な浸水対策を推進するとともに、護岸及び地盤の嵩上げなどの対策についても検討します。

## ③ 移動しやすい都市づくり

道路や地域公共交通によってネットワークされた移動しやすい都市づくりを推進します。特に、**都市計画道路志免宇美線の整備を推進**するとともに、生活の移動を支える地域公共交通の機能を維持します。また、ひばりが丘から都市計画道路志免宇美線を結ぶ道路の整備について検討します。

## ④ 活力のある都市づくり

**事業中の都市計画道路志免宇美線沿道のポテンシャルを活かした適正な土地利用の誘導と、周辺の良い市街地環境の構築にむけ土地区画整理事業などの導入について検討**します。また、工場集積地では周辺と調和した操業環境を維持します。併せて、本町の産業振興に寄与する利用可能な土地の選定を検討します。

## ⑤ うるおいのある都市づくり

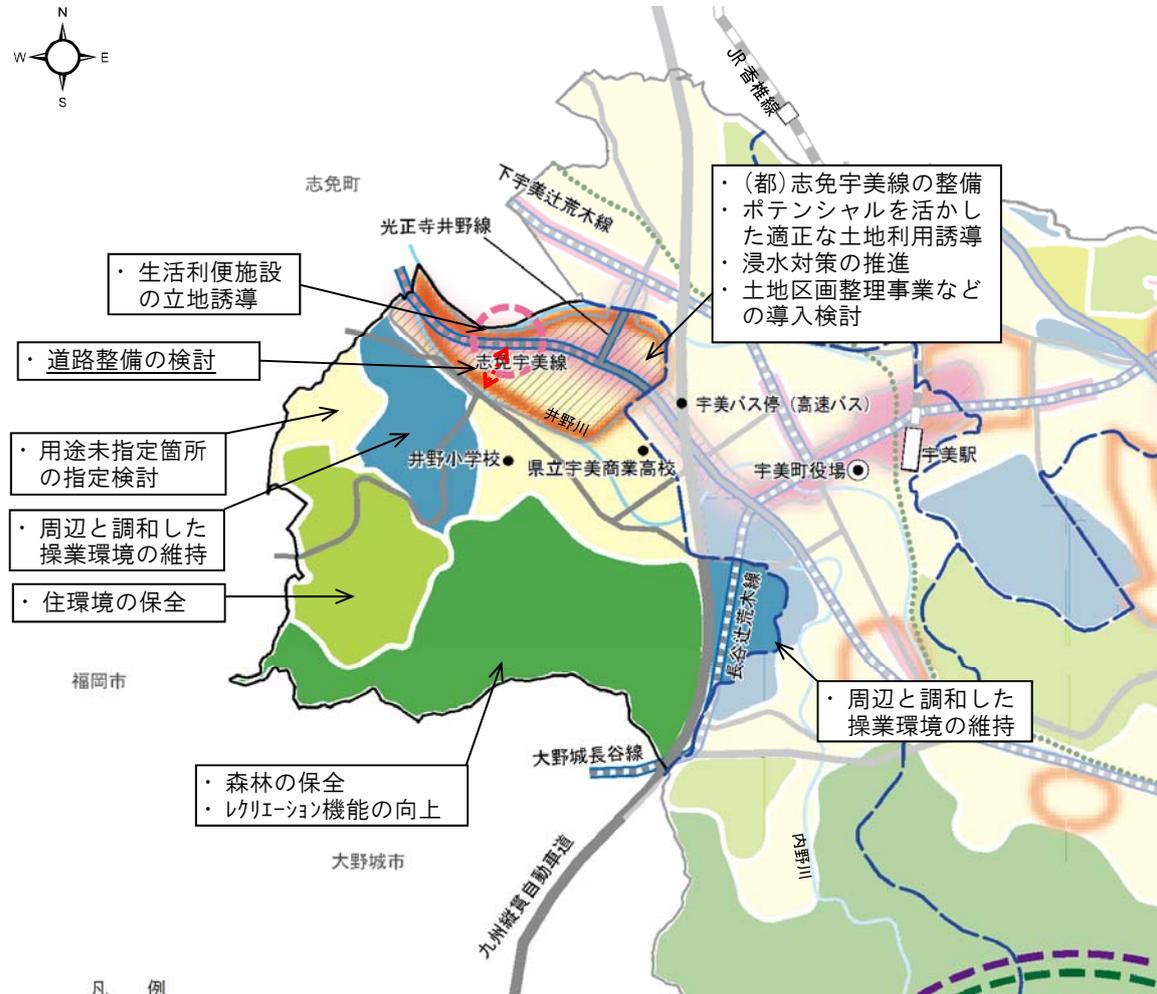
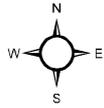
既存公園の機能充実、豊かな森林や河川の保全、道路や河川空間での景観形成などによりうるおいのある都市づくりを推進します。特に、井野山におけるレクリエーション機能の向上により、町民や来訪者の余暇の充実、交流の拡大に寄与する空間形成に努めます。また、宇美川や井野川などにおける多様な生物が生息できる河川環境整備を促進します。

---

・本文中の**ゴシック体(太文字)**は、地域で特記すべき内容の項目を示します。  
・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目(第4回まちづくり検討会より)を示します。

都市づくりの目標

**井野山・井野川の自然と共生し、安全・安心に生活できる 街づくり！！**  
**「スローライフ INO」**



凡 例

拠点	中心拠点		広域交通軸	高速道路		
	生活拠点			広域幹線道路		
	産業拠点			都市計画道路		
	歴史・文化拠点			事業着手区間		
	クリエイション拠点			計画区間		
	交通拠点			鉄道		
ゾーン	市街地ゾーン	中心商業地			都市内幹線道路	
	工業・流通業務地	近隣商業・沿道サービス地			都市計画道路	
		工業・流通業務地			緑道	
		低層住宅地			河川	
		中高層住宅地		土地区画整理事業等検討区域		
	一般住宅地		用途地域見直し検討区域(用途地域内)			
	田園居住ゾーン		都市計画区域界			
	森林ゾーン					

- ・図は概ねの位置を示します。
- ・アンダーライン部は、地域の重点的な取り組みとして意見のあった項目（第4回まちづくり検討会より）を示します。

〈地域全体を対象〉

- ・生活道路の安全性向上
- ・公園の適正配置
- ・既存公園の機能充実
- ・上下水道の整備推進
- ・道路や河川などの景観形成
- ・建築物の耐震化促進
- ・土砂災害などの対策
- ・土砂災害警戒区域などのハザードマップによる周知
- ・避難体制の構築
- ・防災施設の適切な管理
- ・地域公共交通の機能維持
- ・産業振興に寄与する利用可能な土地の選定
- ・多自然川づくり

構想図(井野地域)